

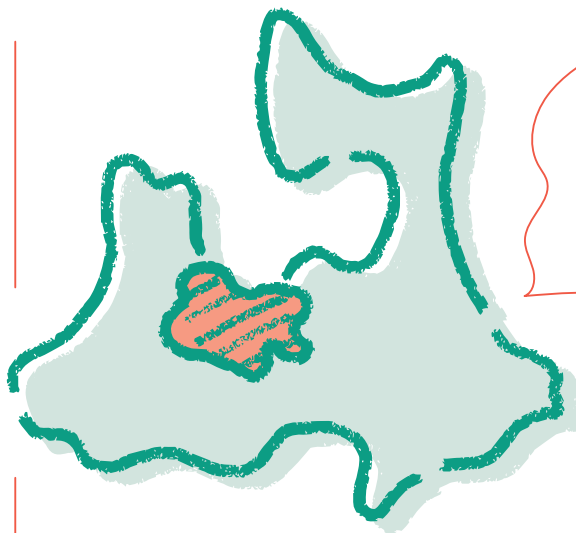
令和8年度

おためし 地域おこし協力隊 募集

青森市へ
お試し移住

都会 + 田舎
トカイナカな
青森市

青森市は、本州の最北端にある青森県の県庁所在地です。陸奥湾（青森湾）の美しい海と、雄大な八甲田連峰に抱かれ、大自然と長い歴史、熱い文化が融合した魅力的な街です。世界有数の豪雪地帯だからこそ楽しめる雪景色や温泉、夏を彩る「青森ねぶた祭」の熱気、縄文のロマンを感じる遺跡やアートなど、心ときめく瞬間が日常に溢れています。新鮮な海の幸や青森りんごといった恵まれた食文化も魅力です。東北新幹線で東京駅から「新青森駅」まで、最速約3時間とアクセスが良い「トカイナカ」な青森市。地域おこし協力隊として、この街の魅力を一緒に広げていきませんか？



興味があるけど
実際どんな活動をしているか具体的に
知りたい！

スキルを活かして
新しい事に
挑戦してみたい！！

“お試し”で青森市に
来てみませんか？



運営元 / 一般社団法人あおもり地域おこし協力隊サポーターズ
本事業は「青森市」より委託を受けて運営しています。

おためし 地域おこし 協力隊とは

総務省の事業で、都市部に住む方が「地域おこし協力隊」として本格移住する前に、一定期間、地域での生活や活動を体験し、受け入れ地域とのマッチングを図る取り組みです。



青森市では、2泊3日の行程を基本に、地域おこし協力隊の業務の体験や地域おこし協力隊活動を経て定住した先輩隊員、地域住民の方々と交流することができます。2泊3日の行程を通して、地域おこし協力隊の活動や地方での暮らしを体験してみませんか？



なぜ、募集しているの？

青森市は魅力にあふれる一方で、少子高齢化や若者の県外流出による人口減少といった課題にも直面しています。伝統文化や豊かな一次産業・観光資源を守り、未来へ繋ぐには、地域外からの新しい視点やエネルギーが必要です。そこで、まずは青森市のリアルな暮らしや活動を知り、お互いのミスマッチをなくす機会として「おためし地域おこし協力隊」の募集を開始しました。



募集要項

コース例ご紹介

例1 地域おこし協力隊 活動体験コース

現役隊員との交流や現場への同行、地域住民との交流体験を通して、青森市での実際の活動とリアルな暮らしをまるごと体感できる2泊3日のプログラムです。

市の担当者や先輩隊員に直接質問できる機会や、移住後の暮らしをイメージできる現地視察も組み込まれており、着任後のミスマッチを防ぎながら自分らしい関わり方を確かめられます。



※上記内容は体験例となります。実際の体験は事前にヒアリングをして決定いたします。



例2 地域交流・地域課題 体験コース

現役隊員の業務体験をはじめ、八甲田牛の生産・販売現場の視察や地元学生・まちづくり団体との交流を通して、青森市が抱えるリアルな地域課題とその解決に向けた取り組みを体感できる2泊3日のプログラムです。ワーケーション体験なども盛り込まれており、地域活動への関わり方はもちろん、実際の働き方や多様な人とのつながりを具体的にイメージしていただけます。

滞在中にできる活動については、青森市に来る前にオンラインなどで事前の打ち合わせを行い、青森市地域おこし協力隊の実際の活動を体験することを基本に、みなさんの興味や特技に合わせて決定いたします。

●受付期間

2026年 **10月** ▶ 2027年 **2月** (予定)

※2泊3日の行程を基本とし、ご希望の日時を事前に調整します。

●定員

期間中 **4名 程度**

●参加費(申込金):なし

滞在中の宿泊場所とプログラムに関わる諸経費はこちらで用意・負担いたします。

※ただし、青森市に来るまでの往復交通費、滞在中の食費などは自己負担となります。

※移住体験施設での宿泊となりますのでご了承ください。

●募集対象者

1. 現在、三大都市圏または地方都市等(過疎地域等に該当しない市町村)に住民票があり、そこに生活拠点がある方。
2. 概ね20歳から40歳くらいまでの方。
3. 地域活性化に意欲があり、地域住民とも積極的に関われる方。
4. 心身ともに健康であり、誠実に活動をおこなうことができる方。
5. 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方。
6. 青森市への移住を検討されている方、または地域おこし協力隊に興味がある方。

どんな活動ができるの？



お問い合わせ

一般社団法人あおもり地域おこし協力隊サポーターズ

Tel 090-7638-1592

✉ info@aosapochiikiokoshi.com

お申込みは
こちらから >>>

